



# 奈良町にぎわい通信

Vol.11

二〇一六・三月号

発行  
奈良町  
にぎわいの家





蓄音機コンサート第2弾！今では聴けないSP盤の「子猿の酒買い」の詞に笑いが。



↑  
かまどご飯めくめく！



町家講座は「茶室と町家の楽しみ方」。建築家・増田明彦さんのお話。いろんな茶室空間を身近に面白く。



← つし2階で開催中の「たんすのなかにいれたもの」岩田茉莉江さんによる、スタッフへのワークショップに、来館の皆さんも合流。音にはいろんな思い出と物語があると実感！



「二十四節気講座」は、俳人の倉橋みどりさん。春を感じる俳句の紹介も。

## 奈良町にぎわいの家 2月のイベントから



蔵展示の町家パネル展。「町家の格子」をテーマに。

お雛様、にぎわい中！



珠光茶会も開催されました。社中の皆様、ありがとうございました。



# にぎわいの家・かき餅作りに挑戦！

2/5、冬の風物詩、昔ながらのかき餅作り。スタッフの手作りにかき餅ができるまで！



①3日前についたお餅。固まりすぎると削りにくいので注意。

②「かき餅カンナ」で削っていきます。

③しっかり押さえ、しっかり挽きます。5mmの薄さが理想。

④ワラの間に、はさんで三つ編みのように。

⑤はい、完成！



かき餅を作ろう！ レポート…西村智恵(奈良町にぎわいの家・事務局)

「これ買ってきました！」と、かまど体験に何度か来て下さっていたMさんが、かき餅カンナをにぎわいの家に持って来られました。聞くと、子どものころ寒い時期にお家で毎年のように作っていらしたそうです。一番寒い時に作ったかき餅は農繁期などには手軽で、腹もちのいいおやつだったのですね。奈良町育ちの田中館長も昔よく食べたそうです。でも、誰も実際に作ったことがない?!そこで試行錯誤で作ってみることにしました。さくらえびと青のりの2種類。ほんのりピンクと緑色に仕上がり、そしてカンナの出番!「確か、こうやってやるんや」と田中館長。ぐっぐぐぐぐぐー。「えらい力があるわー」顔を真っ赤にしなが、カンナで削る。少し慣れるとコツが分かってきました。来館されていたお客様にも体験していただき、板の間がにぎわいました。そして、できたかきもちを、藁やひもで結び、通り庭に干すと、寒い空間に彩りが加わり、春がそこまで来ているような、そんな風景になりました。来年は、「かき餅作り体験!」でみなさん一緒に作りませんか?



⑥通り庭の寒風にさらされ、いいあんばいに乾いていきます。

奈良町にぎわいの家では、二十四節気オリジナルスタンプと節気ごとの歌で皆様をお迎えます。

短歌...喜多隆子(歌人・ヤマユ編集委員)／書...逢香(奈良教育大学)



## 奈良町にぎわいラジオ

～四季のごとのほ～

毎月第3週 土曜日 11:00～11:30

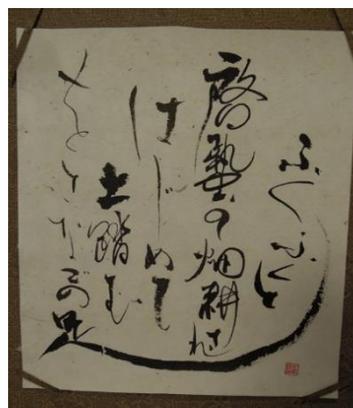
4月に閉館の「奈良町にぎわいの家」から、二十四節気(旧暦の季節の暦)の四季の言葉と町家の良さを発信!また、奈良町の声、情報など奈良町のにぎわいをお届けします。

◇制作: 奈良町にぎわいの家  
◇脚本 構成 演出: おの・こまち  
◇作曲: 小宮ミカ  
◇パーソナリティー: 羽原あき子

## 「奈良町にぎわいラジオ」放送中!

ならどっとFM 78.4MHz 毎月第3土曜日

毎月、にぎわいの家発のラジオ番組を制作、放送しています。内容は、節気解説、節気短歌朗読で始まり、にぎわいの家で行われたイベントやコンサート、スタッフおすすめのコナーも。「奈良町びとボイス」では、地元でご活躍の皆さんにお話を伺っています。昔の町家すまいの様子、寺に伝わる中将姫伝説とゆかりの場所、戦時の暮らし、奈良町ならではの味...など、「奈良町」という地図上では小さなエリアが、実は沢山の物語のある「町」であることが、お話から浮かび上がってきます。徳融寺さんの鐘の音を収録、放送しましたが、その鐘の響きはなんとも趣きがありました。インターネット、ホームページからもお聞きいただけます。ぜひ一聴ください!



奈良町にぎわいの家  
二十四節気  
オリジナルマーク「啓蟄」  
デザイン: 金田あおい

虫も目覚める啓蟄、やわらかにふくふくと耕される土、その土を踏む幼児。子どもは歩き始めたばかり。そんな子どもが、初めて、土の上に立ち、踏むという、いのちの輝きにあふれたお歌。啓蟄という、目覚めの季節の土の生命力に、幼子(をさなご)の成長が重なる、「いのち」を言祝ぐ、素敵な春の歌です。

ふくふくと啓蟄の畑耕され  
はじめて土踏むをさなごの足

事務局長 藤野正文

立春から雨水、啓蟄を迎え早くも春分になる季節。  
奈良町にぎわいの家が開館してもう少しで二十四節気が一回り、1年が経ちます。多様な来訪者、近隣の方々、奈良市役所の方々、関係者に支えられて、「よちよち歩き」も少しは成長したかと思いますが、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

3月（江戸時代までは、今の4月ですが）といえば、雛祭りの季節です。ね。  
「女子のすこやかな成長を人形に託して祈る日本の行事」〜ひな人形に桃の花、白酒、寿司、雛あられや菱餅。

嫁入り道具の一つで母方の実家から送られてきたひな人形を飾り、特に3月3日は女の子のお祭りの日で姉妹やおばさん、いとこ、近所のおばちゃんが集まって女天国。世間話や子供の成長の話などにぎやかなものでした。

お祝いをして成長のお祈りをするだけでなく、女性だけの息抜きの大切なコミュニケーションの場、談笑の場でもあったように思います。近所の人や近くの親戚が集まってきて

いた、季節の行事をみんな楽しんで、しむ習慣がありました。

そんなことを思い浮かべると、今のすまいが、ずいぶん外の世界に閉じられたものとなっていることに気づきます。箒をさかさまに立てて祈るといふように少し困ったこと、煩わしいこともありましたが、家の中で人と人のお付き合いやコミュニケーションが豊かだったですね。子供は子供で大人同士の会話を漏れ聞き、大人の世界、大人の生き方を垣間見ることもできたわけですね。今日から見れば比較にならないくらいつつましい生活であつたけれど、今より豊かな世界がひらけていたような気がします。

3月は全国各地で、県内でも高取町や大和郡山で雛祭りイベントを町ぐるみで取り組まれています。奈良町にぎわいの家でも、春の日差しと共にひな人形が皆様をお迎えしています。にぎわいの家は昔を懐かしむ場ではなく、季節の行事をみんなで楽しむ、談笑が生まれる場でもありたいと思います。皆様方のご支援やご協力を頂ければ幸いです。



童話の朗読が沢山入ったLP盤を寄贈していただきました。アンデルセン、グリム童話、日本の民話など。お話を聞き、絵を見る楽しみ。町家の絵本時間を作れますよう。

### にぎわいの花・華

スタッフによる季節の花々...町家に彩りを添えて。



奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



啓蟄 3/5〜  
地中より虫目覚む

三月の節気



春分 3/20〜  
春の彼岸

二十四節気は、春分、夏至、秋分、冬至の四節気を基準にして、その間を分けていきます。桜も間近、春本番ももうすぐですね。

イベント、講座情報は、ホームページ、フェイスブックからご覧になれます。是非、ご参加ください。

### 奈良町にぎわい通信vol.11

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体  
発行人...二十軒起夫  
編集・構成...おの・こまち  
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一  
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館  
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

http://naramachi-nigiwainoie.jp/